

市政懇談会「留萌観光・感動物語」開催報告

【市からの報告】

- 1 海拔表示等の取り組みについて
- 2 電力需給の状況について
- 3 留萌観光・感動物語事業について
- 4 留萌小学校改築計画について

意見・質問等（要約）	回 答
<p>・今回は沖見小学校だが、今後、他の学校も閉校になると思うが、閉校後の校舎についてはどのように考えているのか。</p> <p>・学校は避難施設でもあるが、今後、学校が減っていく中で、避難施設としてどのように考えているのか。</p>	<p>・小中学校の適正配置計画の中で、最終的には小学校3校、中学校2校という形を考えています。今回の沖見小学校、更には既に閉校している校舎についても検討していきます。</p> <p>・学校の統廃合があったとしても、利活用の検討の中で、充分避難施設として活用可能であれば、そのような利用についても検討してきます。</p>

- 5 元気な留萌っ子のコーディネーショントレーニング

【市からの説明】

- 1 新しいごみ処理（案）について

【グループ討議】

新しいごみ処理（案）について、9班に分かれてグループ討議を実施しました。

主な意見・要望等
<p>【ごみの分別等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりにも細かい分別で、理解できない人が多くなるのではないか。 ・生ごみについては、特に夏場は腐食や臭いの関係もあるので、夏季だけでも収集回数を増やせないか。 ・資源ごみの収集回数を増やしてほしい。

- ・ クリーンステーション内に生ごみ用のケース（トレイ、バケツ等）を設置してほしい。
- ・ 老朽化が激しいクリーンステーションを取り替えてほしい。
- ・ 現在使用しているごみ袋が余った場合は、少しの期間継続して使わせてほしい。
- ・ 生ごみの水切りの方法など、ごみの出し方や減量に関するアイデア等があれば知らせてほしい。

【市民周知等について】

- ・ 分別収集開始時のようにモデル地区や試行期間を設定しないのか。
- ・ 今後の市民説明会の日程を早く知らせてほしい。
- ・ 町内会単位での説明会を実施してほしい。
- ・ 高齢者世帯、単身者、町内会未加入者に対しても周知を徹底してほしい。
- ・ 市民説明会時には、実際の品物を使うなど詳しい説明をお願いしたい。
- ・ 冊子については、高齢者等にも簡単に分かるような、簡潔な表示のものを作ってほしい。
- ・ 高齢者向けにパンフレットや一覧表などを配付してほしい。
- ・ 教育の一環として、小中学校で分別の指導を行ったほうがいいのでは。

新しいごみ処理案については、留萌南部衛生組合での協議を経て市民説明会が11月に開催される予定です。

【閉会（市長挨拶要旨）】

- ・ 東日本大震災があってから2回目のお盆を迎えました。親を亡くした子ども達もたくさんいます。今回、福島から子ども達が来ました。実際に被害に遭われた子ども達ではないですが、福島県の子ども達を夏の間受け入れいたしました。
- ・ 地球全体の資源を大事にし、大量に消費する時代から、できるだけ消費量を少なく、リサイクルし、資源化する。今まで留萌では15年間にわたり市民の皆さんが協力してくれたおかげで、固形燃料を作り、生ごみも堆肥化する最先端のごみ処理を行ってききましたが、コストも掛かってきました。ですから、次の処理はコストも抑え、市民の皆さんの協力を頂き、家庭から出るごみを減らしていき、全てを資源化していきたいと思っております。これから、留萌、増毛、小平と協力をしながら、この地域の資源というものを守り、そして、次の

世代の子ども達にしっかり楽しんでいただきたいと思います

- ・ 留萌には釣り人もたくさん来てくれますが、これも大きな観光の一つだと思っています。ですから、安全に楽しく釣りができる、そのものを考えていかなければならない。
- ・ 今回の説明で、留萌観光・感動物語ということで市民の皆様に協力を頂きました。

かつては地域の町内会では盆踊りができました。今も続けている町内会もありますが、子ども達が少なくなったり、人が少なくなったりして、なかなか盆踊りができないという状況がありましたので、いろんな祭りを通じて地域コミュニティの再生を図り、また、今回は特に障がい者、ハンデを持った方も参加できる、そういう仕組みを作ろうと経済界の皆さんも行っていたので、私としては、このやん衆盆踊りについても町内会の皆様方の協力をいただきました。

- ・ 留萌市全体で地域コミュニティの再生ということをテーマに挙げて、そして、地球に優しいごみ処理のあり方、地域全体それぞれが思いやりと優しさの中で地域のコミュニティの再生を図り、地域の中で笑顔が広がるように、私ども行政としても精一杯やっていきたいと思っておりますので、色んなご意見も頂きましたけど、それを真摯に受け止めながら出来るだけ良い方向性を見出して、新しいごみ処理の姿というのを、皆さんと一緒に作り上げてまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしく申し上げます。